

夏季教化研修会

愛知県神社庁は夏季教化研修会を9月4日、六所神社（岡崎市）を会場として開催し、県下から83名が参加しました。

当日は荒天の中、午前9時半に六所神社を正式参拝。同社は国の重要文化財にも指定されていますが、3年に亙る平成の大改修を終え、本年3月には竣功奉告祭が行われました。朱色も真新しい拝殿にて会場神社の宮司である大竹いつき氏による解説が行われました。引き続き、開講式に移り、白井副庁長が挨拶。続いて六所神社大竹宮司が挨拶、研修に入りました。

第1講として幕末史研究の第一人者でもある木村幸比古氏（公益財団法人霊山顕彰会霊山歴史館副館長）による「なぜ明治維新なのか 明治維新150年を迎えて」と題して講演をいただきました。

第2講は、会場神社である大竹宮司を講師として「ご造営について」と題して講演がありました。大竹宮司は国の重要文化財でもある六所神社の改修にあたり、国、特に文化庁や行政機関である岡崎市との折衝、さらには税務優遇を受けられるべく財務省との折衝、更には工事請負会社や地元の財界への募財依頼など、数々の苦勞話をわかりやすく丁寧にお話しいただきました。

最後に昨年実施され全国教化会議について教化常任委員の高羽伸浩氏から報告されました。

